

定期報告制度の告示に伴う赤外線装置法による
外壁診断講習会
初級コース

テキスト

第3版

平成23年10月14

 一般社団法人
日本赤外線サーモグラフィ協会
Japan Infrared Thermography Association

目 次

	編別のページ	通しページ
第1編 定期報告制度について(全17ページ)		
はじめに	1	(1)
1．定期報告制度の趣旨	1	(1)
2．定期調査報告の対象建築物・報告時期・資格者	3	(3)
3．特殊建築物等定期調査における見直し事項	5	(5)
4．告示内容(外装仕上げ材の調査)	6	(6)
5．用語の解説	7	(7)
6．判定基準	17	(17)
おわりに	17	(17)
第2編 外壁仕上げ材(タイル、石張り及びモルタル)(全37ページ)		
はじめに	1	(18)
1．外壁の劣化現象について	1	(18)
2．タイル張り	4	(21)
3．石張り	26	(43)
4．モルタル塗り	32	(49)
おわりに	36	(53)
第3編 赤外線測定の基本(全48ページ:編別の全ページ数)(注:編別の2ページは、通し1ページに)		
赤外線サーモグラフィ編		
概要	3	(56)
操作	6	(57)
温度	9	(59)
熱移動	10	(59)
表面温度	15	(62)
赤外線	16	(62)
放射率	21	(65)
測定作業	26	(67)
赤外線法の原理編		
原理	30	(69)
建物事例編		
事例	42	(75)
第4編 赤外線による外壁調査の留意点(全29ページ)		
はじめに	1	(79)
1．赤外線装置法の原理	1	(79)
2．事前準備	2	(80)
3．赤外線装置法の適用限界	4	(82)
おわりに	29	(107)
第5編 調査報告書の作成方法(全20ページ)		
はじめに	1	(108)
1．定期調査報告書様式について	1	(108)
2．赤外線調査報告書	8	(115)
3．外壁調査(赤外線装置法)事例-1	11	(118)
4．外壁調査(打診法)事例-2	17	(124)
おわりに	20	(127)